

国際音楽エンタテインメント専門学校 学校関係者評価結果評価委員会における指摘事項等

実施日時：平成25年11月27日（水） 16:00～17:00

実施場所：国際音楽エンタテインメント専門学校 第1ミーティングルーム

参加者：株式会社柳都アーティストファーム ライブハウス館長 松本和良
音響家（フリーランス） 荻原政之
卒業生 佐藤和音
卒業生 延澤汐美
学校長 斉藤秀志
副校長 田中良
教務部長 朝倉隆司
事務局長 下坂旬也
学科長 田中史歩
学科長 杉本千尋

《学校および教育について》

～評価すべき点～

- ・新潟県の多くのイベントで生徒たちがインターンシップなどで活躍している状況は、新潟の音楽文化発展に大きく寄与している。
- ・多くの音楽関係者による特別授業を設定し、また生徒との名刺交換を実施するなど、社会人マナーを身に付ける場としても活用され、高く評価する。
- ・マナーやルールを徹底することは人間性育成にプラスになっている。
- ・保護者アンケートの結果が概ね良好であった。保護者との連携を怠らなかった結果である。さらなる連携に期待する。

～改善が必要な点～

- ・ミュージシャンになる漠然とした目標を、もっと明確にプランニングにする必要があるだろう。
- ・音楽系に特化した学校ゆえに、検定や国家資格の合格のような明確な評価基準が設定しにくいであろう。しかし、学生や社会にとっては重要なことで、評価基準を詳細に構築し、公表すべきである。
- ・卒業生の動向が十分に把握されていない。離職率が問題になっている今、最低でも卒業後5年はコンタクトを取りつつ動向の把握に努める必要があるだろう。